

第 97 期

中間報告書

(2022年4月1日から)
(2022年9月30日まで)

ATSUGI

ア ツ ギ 株 式 会 社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに当社グループ第97期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況をご報告申しあげます。

事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢などによって資源・エネルギー価格上昇に拍車がかかったことや、外国為替相場での急激な円安進行、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖等の影響から、先行きは不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、物価上昇及び実質賃金の低下から消費者の生活防衛意識が高まったことによる消費マインドの低下等により依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2024』では、この期間を「足場固めの3年間」と位置付け、顧客ニーズの変化と多様性に的確に対応したうえで、「事業ポートフォリオの強化」、「生産体制の再編による収益基盤の強化」、「資本の効率化」の3つの重点課題に取り組むことにより収益性を高めることに注力し、将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,817百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は1,060百万円（前年同期は1,016百万円の損失）、経常損失は682百万円（前年同期は771百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は694百万円（前年同期は809百万円の損失）となりました。

なお、中間配当につきましては、見送りさせていただくことといたしましたので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

次に事業別の概況を申し上げます。

繊維事業

レグウェア分野は、徐々に人流が回復し行動制限の緩和の動きによる個人消費の持ち直しによる動きが見られ販売数量は回復傾向となりましたが、消費者の生活防衛意識の高まりなどから高価格帯商品が苦戦し、同分野の売上高は4,991百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

インナーウェア分野は、ブラジャーなどは底堅く推移しましたが、布マスクの需要が落ち着いたことなどにより、同分野の売上高は4,196百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

これらの結果、繊維事業全体の売上高は9,187百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失は1,249百万円（前年同期は1,171百万円の損失）となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、保有資産の有効活用を進めておりますが、不動産事業全体の売上高は268百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は195百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

その他の事業

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。介護用品の販売は苦戦しましたが、認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しました。これらの結果、その他の事業全体の売上高は361百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は35百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

以上が第97期第2四半期連結累計期間の事業の概況であります。

今後の見通しにつきましては、依然として不透明な経済情勢が続くことが予想されます。当社グループを取巻く環境も引き続き厳しい状況で推移していくものと予想される中で、第3四半期以降に向けて、価格を上回る価値ある商品作りと経営の効率化、合理化を進め、目標の達成に全力を挙げて取り組んでまいります。

なにとぞ株主のみなさまにおかれましては、引き続きなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 日 光 信 二

四半期連結貸借対照表 (2022年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	16,927	流 動 負 債	3,911
現金及び預金	3,948	支払手形及び買掛金	1,705
受取手形及び売掛金	3,760	1年内返済予定の長期借入金	470
商品及び製品	4,952	未払法人税等	100
仕 掛 品	1,168	賞 与 引 当 金	61
原材料及び貯蔵品	709	そ の 他	1,573
そ の 他	2,415	固 定 負 債	5,239
貸倒引当金	△ 27	長期借入金	1,144
固 定 資 産	24,997	繰延税金負債	1,534
有形固定資産	16,464	再評価に係る繰延税金負債	1,286
無形固定資産	652	退職給付に係る負債	1,018
投資その他の資産	7,881	そ の 他	254
		負 債 合 計	9,150
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	27,250
		資 本 金	20,000
		資本剰余金	10,272
		利益剰余金	△ 1,555
		自 己 株 式	△ 1,466
		その他の包括利益累計額	5,524
		その他有価証券評価差額金	2,190
		繰延ヘッジ損益	1,049
		土地再評価差額金	388
		為替換算調整勘定	1,894
		純 資 産 合 計	32,774
資 産 合 計	41,924	負債純資産合計	41,924

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(2022年 4 月 1 日から)
(第 2 四半期連結累計期間) (2022年 9 月 30 日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	9,817
売上原価	7,184
売上総利益	2,632
販売費及び一般管理費	3,693
営業損失(△)	△1,060
営業外収益	391
受取利息及び配当金	124
為替差益	193
その他の	73
営業外費用	12
支払利息	4
租税公課	1
その他の	6
経常損失(△)	△ 682
特別利益	68
固定資産売却益	68
特別損失	24
固定資産除却損	16
固定資産売却損	7
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 637
法人税、住民税及び事業税	63
法人税等調整額	△ 6
四半期純損失(△)	△ 694
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 694

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

取締役および監査役（2022年9月30日現在）

代表取締役社長 社長執行役員	日光 信二
-------------------	-------

取締役 執行役員 (営業統括)	牧野 智哉
-----------------------	-------

取締役 執行役員 (管理統括)	古川 雅啓
-----------------------	-------

取締役	高梨 利雄
-----	-------

取締役	播磨 奈央子
-----	--------

常勤監査役	佐藤 智明
-------	-------

監査役	後上 憲一
-----	-------

監査役	高野 健吾
-----	-------

- (注記) 1. 取締役のうち高梨利雄、播磨奈央子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち後上憲一、高野健吾の両氏は、社外監査役であります。
3. 播磨奈央子氏の戸籍上の氏名は高木奈央子であります。

株 主 メ モ

決 算 期	3 月 31 日
定 時 株 主 総 会	毎年 6 月
単 元 株 式 数	100 株
配当金支払株主確定日	
期末配当金	3 月 31 日
中間配当金	9 月 30 日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町 1 - 1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 取 引 所	東京 (プライム市場)
公 告 方 法	電子公告 アドレス https://www.atsugi.co.jp/ir/koukoku.html 〔ただし電子公告による公告ができな い場合は、日本経済新聞に掲載して 行います。〕

○株式に関する各種お手続きについて

- ・株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社で承ります。
- ・証券会社に口座をお持ちでない株主様は、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- ・未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

アツギ株式会社

〒243-0493 神奈川県海老名市大谷北一丁目3番2号

TEL 046-231-1111 (代表)